

表面抵抗値が調整可能

手袋・ウエアラブル向け

導電性繊維

理化学機器商社の理学（長野県松本市、金井文彦社長）は、表面抵抗値の調整が可能で耐候性、耐摩耗性、耐洗濯性に優れた導電性繊維「フアンタロン」を開発した。静電気の帯電防止やほこりの付着防止という特性を生かし、手袋やフィルター材料として提案。

理学

さらに衣服型ウエアラブルスマートデバイスへの電極としての利用も見込む。島貿易を通じて販売展開し、すでに国内の繊維加工メーカーから引き合いが寄せられていることから、需要先のニーズを把握し基材繊維の提案を行っていく。

クロス、集塵バッグフィルター、車両室内材料などへの利用を想定し、営業

活動を開始した。今後はこれらに加え、体に装着して使用するウエアラブルスマートデバイスへの利用も見込む。生体情報をセンシングする衣服を作るためには電気を通す伸縮性で高耐久の導電性繊維の電極が不可欠となることから、これら用途への提案も進めていく。

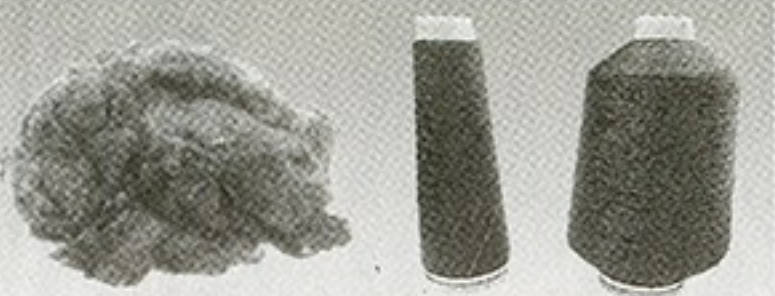
理学は分析装置などを取り扱う理化学機器商社で、これまで大学や研究機関、民間企業に各種機器を提供してきた。2013年からは新規事業として導電性ポリマー「RiCP」（アールアイシーピー）の製造・販売を開始している。

今回開発した導電性繊維のフアンタロンは、RiCPの技術を活用することで低抵抗性と経時安定性、耐候性、耐久性に優れた性能を実現している。表面抵抗値を10の2乗〜10の7乗まで調

よび放電防止、静電気による火災の発生防止やそれ以外のさまざまな用途で使用することができ。対象基材はポリエステルやナイロン、アクリル、アラミドなどの長繊維や不織布用ステープルファイバーなどの短繊維、静電植毛用カット繊維など多様。導電性ポリマーを繊維表面に均一に被覆させることによって均質な導電性繊維製品の製造を可能にしている。外観は黒と茶、グリーンなどの色相に対応できる。

整可能なため静電気の帯電防止やほこりの付着お

理学はまず靴用インソールや手袋、ワイピングク



導電性繊維「フアンタロン」